

# 決算報告書

## 平成27年度 決算報告書

国立大学法人 旭川医科大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,451	5,353	△ 98	(注1)
施設整備費補助金	501	501	—	
補助金等収入	133	254	120	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	34	34	—	
自己収入	19,945	20,606	661	
授業料、入学料及び検定料収入	693	681	△ 12	(注3)
附属病院収入	19,007	19,632	625	(注4)
雑収入	245	292	48	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,025	892	△ 133	(注6)
引当金取崩	—	35	35	(注7)
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	26	22	△ 5	
目的積立金取崩	—	—	—	
計	27,115	27,696	580	
支出				
業務費	23,949	23,578	△ 371	
教育研究経費	4,884	4,583	△ 301	(注8)
診療経費	19,065	18,994	△ 70	(注9)
施設整備費	535	535	—	
補助金等	133	254	120	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,025	868	△ 156	(注11)
貸付金	74	70	△ 5	
長期借入金償還金	1,399	1,397	△ 3	
計	27,115	26,701	△ 414	
収入-支出	—	995	995	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当支給が当初予定より少額であったことにより、予算額に比して決算額が98百万円少額となっております。
- (注2) 補助金等収入については、当初受託研究として受け入れる予定であった事業を補助金事業として受け入れたこと、各種補助金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が120百万円多額となっております。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍学生数が当初の見込みを下回ったことにより、予算額に比して決算額が12百万円少額となっております。
- (注4) 附属病院収入については、患者数の増加、高額な注射薬や内服薬を使用した治療の増加、特定集中治療室管理料の上位加算や病棟薬剤業務実施加算の取得等により、予算額に比して決算額が625百万円多額となっております。
- (注5) 雑収入については、学内駐車場収入、医療用機器損害保険料収入の増等により、予算額に比して48百万円多額となっております。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、当初受託研究として受け入れる予定であった事業を補助金事業にて受け入れたこと、寄附受入の減等により、予算額に比して133百万円少額となっております。
- (注7) 引当金取崩については、法人措置教職員の退職手当の支給に伴い、相当額について引当金を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が35百万円多額となっております。
- (注8) 教育研究経費については、給与の臨時特例減額、退職手当支給が当初予定より少額であったことに伴う人件費の減少、水道光熱費の単価減及び使用量減等により予算額に比して301百万円少額となっております。
- (注9) 診療経費については、給与の臨時特例減額に伴う人件費の減少、診療消耗品費等の各種経費削減、水道光熱費の単価減及び使用量減等により予算額に比して70百万円少額となっております。
- (注10) 補助金等支出については、(注2)と同様の理由により、予算額に比して120百万円多額となっております。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)と同様の理由により、予算額に比して156百万円少額となっております。